

もの言う牧師のエッセー 第284話

「経験律」

3月末、栃木県那須町のスキー場で雪崩事故があり登山講習会に参加した県立大田原高校山岳部の生徒ら8人が亡くなった。降雪のため当初予定の茶臼岳への登山を中止し、代わりに那須温泉ファミリースキー場第2ゲレンデ付近で、雪をかき分けて歩くラッセル訓練を行っていた最中に起こった悲劇だが、当時同町には雪崩注意報が発令されており、講習をラッセル訓練に変更した判断の是非と、安全管理体制が問題視された。「スキー場の雪崩が起きやすい場所を避ければ絶対安全と思った。経験則で判断した」と現場責任者の高体連登山専門部委員長、猪瀬修一・大田原高教諭による説明。

明けて4月、ここカリフォルニア州ではブラウン知事が“500年に一度”と言われる大干ばつの終結を宣言、「不測の事態に備え今後も節水を心がけるよう」に言っていたが、本当にカリフォルニアは昨冬の大雨に救われた。

いっぽう日本では、この頃から一部のポテトチップスがジャガイモの不作のあおりを受け、販売休止・終了に追い込まれ“ポテチ・ショック”が続いている。全国のジャガイモ生産量の8割を占める北海道を襲った昨夏の台風が原因だが、「各地の作付けは順調。あとは天候次第」と農水省の弁。品薄は次の収穫期である9月以降まで続くそう。イエスは言う。

「からすのことを考えて見よ。まくことも、刈ることもせず、また、納屋もなく倉もない。それなのに、神は彼らを養っていて下さる。あなたがたは鳥よりも、はるかにすぐれているではないか。あなたがたのうち、だれが思いわずらったからとて、自分の寿命をわずかでも延ばすことができようか。そんな小さな事さえできないのに、どうしてほかのことを思いわずらうのか。」

ルカの福音書12章24-26節：口語訳、

と。アテにならない人の経験律や知識、根拠なき見込み。こと自然や命に関しては無力に等しい人間。まず神を信じ敬おう。不測の事態への備えはそこから始まる。 2017-5-26

